王将

本調子

合 ○ 四上中五工 七五工中工 工五工 中工中上

四 七五工中上 上工中上四 四中上 四 ○ ○

ふけ ばと ぶよ な しょうぎの こま に

合 合 ○合四上中工工 五七七七六六工 ○ ○

かけ たいのち を わら わば わらえ

中 中 ○中上工中上四 乙乙合上四乙合 ○ ○

うまれ なにわ の はっぴゃく やばし

中 工 工 工五工 中 五 五 工中工 ○ ○

つき も しって る おいら のいき ぢ

五 五 七 五工中 工 合 合 ○中上 四 ○

五 五 七 五工中 工 合 合 ○中上 四 ○

一、吹けば飛ぶよな　将棋の駒に
賭けた命を　笑わば笑え
うまれ浪花の　八百八橋
月も知ってる　俺らの意気地

二、あの手この手の　思案を胸に
やぶれ長屋で　今年も暮れた
愚痴も言わずに　女房の小春
つくる笑顔が　いじらしい

三、明日は東京に　出て行くからは
なにがなんでも　勝たねばならぬ
空に灯がつく　通天閣に
おれの闘志が　また燃える